

# 年 報

—令和元年度—

2020

大磯町郷土資料館

OISO MUNICIPAL MUSEUM

## はじめに

令和元年度大磯町郷土資料館年報を刊行いたします。

令和元年度は、いつになく災害に見舞われた年となりました。10月12日、13日は台風19号襲来のため、郷土資料館・旧吉田茂邸とも二日間臨時休館しました。台風襲来を理由とした臨時休館は、郷土資料館開館以来、初めてのことです。郷土資料館職員も町職員として、避難所の開設に従事しました。地球温暖化により、日本を通過する台風が強大化することが予測されます。今後、このような対応が常態化するのかと感じた矢先に、新型コロナウイルスの感染が拡大し、3月7日から臨時休館を余儀なくされました。新型コロナウイルス感染拡大防止への対応は、臨時休館に伴い、主催する講座等を中止にせざるを得ず、令和2年度の行事にも影響が出ている状況です。

旧吉田茂邸も開館から3年が経ち、今後の運営について本格的に検討する時期になりました。明治記念大磯邸園の整備も含め、大磯町の文化資源としてどのように活用していくのが望ましいのか、そしてその活用が持続できるのか、問われています。

台風19号では、県内の川崎市市民ミュージアムの収蔵庫が水没し、甚大な被害を受けました。社会を脅かす災害が想定される中、博物館活動をどのように行うのか、当館も自分事として、事業を検討していかなければなりません。引き続き、当館の事業にご理解・ご協力をお願いいたします。

大磯町郷土資料館

## 目 次

---

### 〔事業報告〕

大磯町郷土資料館運営	4
・組織および職員	4
・協議会	4
・予算	4
・観覧者数	5
大磯町郷土資料館施設管理	6
・維持管理	6
・施設使用	6
旧吉田茂邸（郷土資料館別館）施設管理	6
・維持管理	6
・施設使用	6
大磯町郷土資料館学芸活動	7
・企画展	7
・学級・講座	8
・博物館実習	9
・研究活動	10
・博物館資料の整備	10
・刊行物	12
・視察・見学対応	12
・取材対応	12
・ホームページを活用した情報発信	12
・博物館資料の収集、整備、利用	13
・文献資料収集状況	15
旧吉田茂邸（郷土資料館別館）学芸活動	17
・ミニ企画展	17
・展示解説・講演会	18
・決断に特化した旧吉田茂邸独自イベント	19
・博物館資料の整備	20
・調度品等の整備	20
・刊行物	20
・視察・見学対応	21
・取材対応	21
学芸員の調査、研究、普及活動	21

### 〔研究報告〕

菊池重三郎と馬籠	
伊藤 匠	26
大磯地区に於ける本土決戦期の遺構調査Ⅱ	
市原 誠	31

### 【資料紹介】 吉田茂宛竹内綱書簡

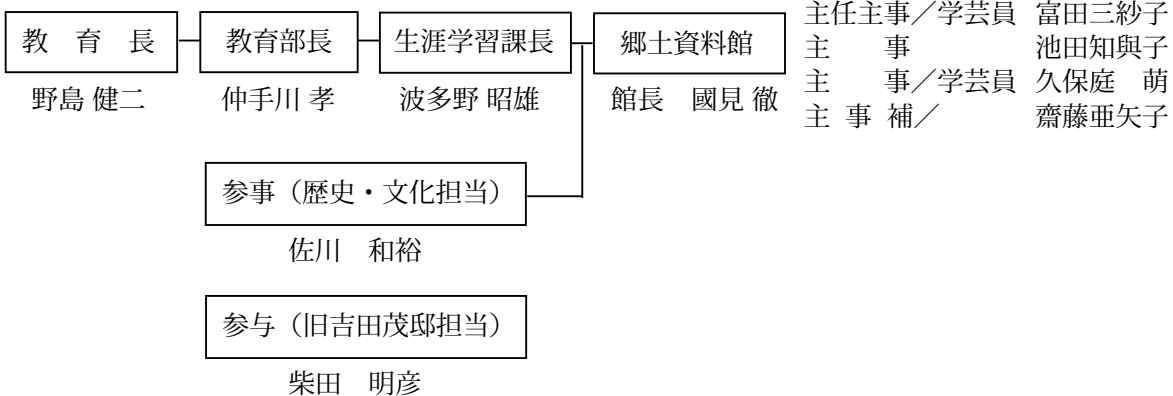
久保庭 萌	39
-------	----

# 事業報告

---

# 大磯町郷土資料館運営

## ■ 組織および職員



臨時職員/学芸員	鈴木 一男、飯野 友紀、中原 園子、伊藤 匠、村田 聡美、鈴木 千津 (R1/5/31)、温水 基輝 (R1/8/1-)
臨時職員/司書	今井沙穂里
臨時職員/自然観察指導員	高山 優美
臨時職員	川下多恵子、佐藤 瑞香、鈴木 道子、名取 淳子、西田 裕子、花輪 弘枝、若栗 尊子

## ■ 協議会

### <委員の構成>

- ・委員長/ 近藤 英夫 (学識経験者)
- ・副委員長/ 西川 武臣 (学識経験者)
- ・委員/ 柴田 紳一 (学識経験者)、古川 元也 (学識経験者)、秋山 実 (学校教育関係者)、中島 美江 (社会教育関係者)、大倉 祥子 (観光関係者)、曾根田玲子 (観光関係者)、上野 広子 (社会教育関係者)

### <協議会の開催>

- ・第1回/令和元年6月11日
  - 議題1 平成30年度事業報告について
  - 議題2 令和元年度事業進捗状況について
  - 議題3 旧吉田茂邸の指定管理の検討状況について
- ・第2回/令和元年11月19日
  - 議題1 令和元年度事業進捗状況について
- ・第3回/令和2年3月10日
  - 議題1 令和元年度事業進捗状況報告について
  - 議題2 令和2年度事業計画について

## ■ 予算

### <当初予算の推移>

年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
金額	200,095千円	512,125千円	147,274千円	84,551千円	98,941千円	92,462千円

### <令和元年度歳入決算額(一部のみ)>

- ・旧吉田茂邸観覧料 17,444,950円
- ・旧吉田茂邸刊行物売上代 169,020円
- ・吉田茂関連製品売上代 122,660円
- ・郷土資料館刊行物売上代 176,720円

### <令和元年度歳出決算額>

事業	郷土資料館 運営事務事業	郷土資料館 維持管理事業	郷土資料館 学芸活動事業	教育普及・ 企画展事業	
金額	1,746,825円	15,535,224円	7,257,351円	997,930円	
事業	旧吉田茂邸 運営事務事業	旧吉田茂邸 維持管理事業	旧吉田茂邸 学芸活動事業	旧吉田茂邸 研修等事業	計
金額	8,590,242円	7,159,457円	2,908,295円	441,207円	44,636,531円

□職員給与(5人分) 31,057,451円 ■歳出合計 75,693,982円

## ■ 観覧者数

### <郷土資料館観覧者数の推移>

単位：人、日

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	累計（昭和 63 年～）
入館者数	25,673	17,862	35,826	28,900	22,201	982,169
1 日平均／ 開館日数	91 / 283	149 / 120	122 / 294	97 / 299	82 / 271	111 / 8,872

※平成 28 年度は平成 28 年 11 月 2 日まで展示リニューアル工事のため休館

※令和元年度は令和元年 10 月 12 日、13 日を台風 19 号のため、令和 2 年 3 月 7 日から新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館

### <郷土資料館の月別観覧者数>

単位：人

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
入館者数	2,425	3,745	1,611	1,033	1,308	1,511	
1 日平均	97	139	64	52	50	63	
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
入館者数	2,607	2,655	1,584	1,529	1,971	222	22,201
1 日平均	109	106	66	66	82	56	82

※令和元年 10 月 12 日、13 日を台風 19 号のため、令和 2 年 3 月 7 日から新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館

### <旧吉田茂邸（郷土資料館別館）の月別観覧者数>

単位：人

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
観 覧 者 数	大人（個人）	2,993	5,193	2,617	1,558	1,316	1,722	
	大人（団体）	773	1,511	1,559	685	78	889	
	中学生・高校生 （個人）	36	61	5	13	32	4	
	中学生・高校生 （団体）	0	0	0	0	0	0	
	小学生以下	69	304	28	48	85	41	
	障がい者／介護者	153	210	110	69	38	63	
	減免対象者	170	54	59	69	48	18	
計	4,194	7,333	4,378	2,442	1,597	2,737		
1 日平均	161	272	175	98	61	114		
		10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
観 覧 者 数	大人（個人）	2,097	2,999	1,370	1,359	2,402	264	25,890
	大人（団体）	1,953	1,466	387	248	358	0	9,907
	中学生・高校生 （個人）	7	12	9	9	18	3	209
	中学生・高校生 （団体）	0	0	0	0	0	0	0
	小学生以下	44	88	25	28	64	12	836
	障がい者／介護者	87	164	68	66	131	8	1,167
	減免対象者	35	47	24	15	207	0	746
計	4,223	4,776	1,883	1,725	3,180	287	38,755	
1 日平均	176	191	82	75	133	72	140	

※令和元年 10 月 12 日、13 日を台風 19 号のため、令和 2 年 3 月 7 日から新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館

## 大磯町郷土資料館施設管理

### ■ 維持管理

#### <委託業務>

- ・清掃委託／(株)湘南県央サービス
- ・警備委託／(株)全日警 横浜支社
- ・昇降機保守委託／ダイコー(株)横浜営業所
- ・敷地管理委託／(財)神奈川県公園協会
- ・空調機器給水設備保守委託／扶桑工業(株)
- ・自家用電気工作物保守委託／荻野電気管理事務所
- ・消防用設備保守委託／(株)足柄防災 大磯営業所
- ・自動ドア保守委託／(株)神奈川ナブコ 厚木支店

#### <修繕>

- ・空調機修繕／扶桑工業(株)
- ・研修室扉修繕／(有)山本建設
- ・除湿機排水ドレン管修繕／扶桑工業(株)

#### <工事>

- ・中央監視装置工事／日本電技(株)横浜支店

### ■ 施設使用

#### <施設使用月別件数>

単位：団体

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
研修室	7	12	7	7	7	4	9	11	9	6	5	0	84

※令和2年3月7日から新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館

## 旧吉田茂邸（郷土資料館別館）施設管理

### ■ 維持管理

#### <委託業務>

- ・清掃委託／高橋産業(株)
- ・警備委託／(株)全日警 横浜支社
- ・昇降機保守委託／(株)日立ビルシステム 横浜支社
- ・空調機器給水設備保守委託／扶桑工業(株)
- ・消防用設備保守委託／モリタ宮田工業(株)
- ・敷地管理委託／(財)神奈川県公園協会

#### <修繕>

- ・流し台防臭修繕／扶桑工業(株)

### ■ 施設使用

#### <施設使用月別件数>

単位：団体

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
全館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
和室	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
金の間	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
食堂	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
研修室	2	2	2	3	0	1	3	1	0	2	2	0	18

※令和2年3月7日から新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館

## 大磯町郷土資料館学芸活動

### ■ 企画展

#### 企画展「吉田茂新収蔵資料展」

期 間／平成 31 年 4 月 27 日(土)～令和元年 6 月 23 日(日)

開場日数／ 50 日間

会 場／郷土資料館 企画展示室

出品点数／約 70 点

料 金／無料

観覧者数／ 5,520 人

趣 旨／旧吉田茂邸の公開をきっかけとして、吉田茂に関する資料の寄贈が増えたが、新しく寄贈いただいた資料の中には、まだ一般に公開していないものが多い。新たに収蔵した吉田茂関係資料の初公開を目的として、収蔵品展を行う。

内 容／

(1) 吉田茂と書道（全日本書道連盟と豊道春海関連資料）

吉田が初代会長を務めた全日本書道連盟関連資料及び同連盟の初代理事である豊道春海関連資料を展示。

(2) 吉田家旧蔵資料

吉田家が所蔵していた吉田茂ゆかりの品々を紹介。昭和天皇御大礼時に吉田が着用した装束や牧野伸顕・竹内綱らから吉田茂に宛てられた書簡、勲章・辞令など。

(3) その他新着資料

その他、様々なところから寄贈・寄託を受けた資料を展示。日本国憲法草案や国葬記念メダル、吉田茂直筆の書や書簡など。

(4) 吉田茂関連写真資料

吉田家が所蔵していた写真を中心に展示。主として外交官・政治家時代の吉田茂を取り上げた。

(担 当) 久保庭



#### 秋季企画展「鳴立庵」

期 間／令和元年 10 月 12 日(土)～12 月 8 日(日)

開場日数／ 47 日間

※ 10 月 12 日、13 日は台風 19 号のため臨時休館

会 場／郷土資料館 企画展示室

出品点数／約 100 点

料 金／無料

観覧者数／ 5,344 人

趣 旨／町内にある俳諧道場「鳴立庵」は、江戸時代に崇雪という人物が庵を創設し、大淀三千風が俳諧道場として利用してから現在まで、地域の文化施設として維持されてきた。本展示では、江戸時代以来鳴立庵に伝えられ、現在、郷土資料館が所蔵する鳴立庵関係資料を、一挙公開することを目的とし、歴代庵主の事蹟を追うことによって、時代によって変化した鳴立庵の役割や、鳴立庵と地域の関係を考察する。

内 容／

(1) 鳴立庵のはじまり

崇雪から始まり、1 世庵主大淀三千風の時代までを紹介。崇雪が最初に西行の歌にちなんで庵を結び、諸国を行脚していた三千風が請われて庵主となって以降、俳諧道場として現在に続く鳴立庵が誕生したことを解説した。崇雪や三千風に関する書画などを、主に鳴立庵資料から展示した。

(2) 中興の祖一白井鳥酔

三千風の没後、鳴立庵は一時衰退を見たが、白井鳥酔が 3 世庵主となったことにより再興された。鳥酔の入庵によって、鳴立庵は以後、芭蕉系の庵主が就任することとなった。江戸時代の鳴立庵について解説し、鳴立庵資料の中から、主に雉啄に関する版本や書画を展示した。

(3) 鳴立庵と近代化—地域とのつながり

明治時代になると、江戸時代に続いていた芭蕉系の庵主は途絶え、鳴立庵も新たな時代を迎えた。それは、江戸時代に芭蕉をピークに発達した俳諧が、大衆化することによって衰退し、そして正岡子規





を迎えて「俳句」という文学に進展するという流れの影響によるものでもあった。明治時代以降の庵主について、特に原昔人や神林時処人を取り上げ、嶋立庵資料の中から関連資料を展示した。

#### (4) 18 世庵主鈴木芳如の活躍

戦中・戦後期に庵主を務めた者は、嶋立庵史上初の女性庵主であった鈴木芳如であった。芳如は俳諧にかかわる活動だけでなく、嶋立庵の歴史を見直し、地元「大磯」の文化事業にも積極的に関わった。芳如の活動を、嶋立庵資料や鈴木芳如関係資料（寄託資料）などを中心に紹介した。

#### 〔関連行事〕

##### 展示解説

期 日／

〔第 1 回〕令和元年 10 月 13 日（日）、〔第 2 回〕11 月 10 日（日）、〔第 3 回〕11 月 24 日（日）

会 場／郷土資料館 企画展示室

参加人数／〔第 1 回〕台風 19 号による臨時休館のため中止〔第 2 回〕10 人〔第 3 回〕約 20 人

内 容／担当学芸員が企画展示の内容を 30 分程度で解説した。

（担 当）富田・伊藤

#### 大磯自然発見コーナー

趣 旨／大磯町内で採集できる自然資料などを館内に展示し、自然観察の参考となる情報を提供する。自然環境に関心を高めるきっかけづくりにつなげる。

##### 〔第 1 回〕「どんぐりの見分け方 ー外を歩けばどんぐりがいっぱい。さて何のどんぐり？ー」

期 間／令和元年 11 月 22 日（金）～12 月 27 日（金）

出品点数／約 6 点

内 容／大磯町内で身近に観察できるどんぐりを紹介した。展示したどんぐりは手に取ってじっくり観察できるようにし、並べてそれぞれの特徴を伝えることでより違いを感じられるようにした。また、『城山公園どんぐりマップ』を観察に活用できる資料として持ち帰れるように設置し、展示を見た後実際に落ちているどんぐりを見に行きたくなる展示を目指した。

##### 〔第 2 回〕「大磯の自然を知ろう ようこそ海の森へ」

期 間／令和元年 12 月 28 日（土）～令和 2 年 4 月 7 日（火）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和 2 年 3 月 7 日から臨時休館

出品点数／約 11 点

内 容／大磯照ヶ崎海岸にも立派な海中林が存在する。海の森の存在を知るきっかけとして、身近に食べている青のりやところんの原料などを中心に海藻おしば標本を展示し、海中の森の様子は写真で紹介した。春～初夏の海岸散歩の自然観察のヒントとなることを目的とした。

（担 当）高山・村田

#### ■ 学級・講座 ※ 2 月 28 日以降は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

##### <古文書裏打クラブ>

期 日／平成 31 年 4 月 20 日（土）、令和元年 5 月 18 日（土）、6 月 22 日（土）、7 月 20 日（土）、8 月 17 日（土）、9 月 21 日（土）、10 月 19 日（土）、11 月 16 日（土）、12 月 21 日（土）、令和 2 年 1 月 18 日（土）、2 月 22 日（土）

場 所／郷土資料館 研修室

講 師／鶴飼レイ子氏、中村ふぢ氏、吉原悦子氏

参加人数／延 100 人

内 容／裏打ちの技術を学びながら、当館で所蔵している古文書の裏打ちを行うワークショップ。博物館資料の整理というボランティア的な性格をもつ活動として位置づけ、平成 16 年度から継続している。活動内容は、昨年度に引き続き、襖に下張りされていた古文書の資料化を進めた。

（担 当）富田・伊藤



##### <古文書解読クラブ>

期 日／平成 31 年 4 月 6 日（土）、令和元年 5 月 4 日（土）、6 月 8 日（土）、8 月 3 日（土）、9 月 7 日（土）、10 月 5 日（土）、11 月 2 日（土）、12 月 7 日（土）、令和 2 年 1 月 5 日（日）、2 月 8 日（土）

場 所／郷土資料館 研修室

参加人数／延 108 人

内 容／郷土資料館が所蔵する古文書を会員と共に解説することにより、大磯の歴史を学び、古文書資料の活用を図ることを目的として、平成 24 年度から毎月第一土曜日を原則として活動を始めた。町指定文化財である大磯宿小島本陣資料の休泊帳を解説し、翻訳文を刊行することを目指している。また、引き続き、会員有志で毎週金曜日の活動を行い、大正期の大磯町の助役日誌を解説している。今年度は新規会員を 3 名募集し、3 名が入会した。

#### 〔関連行事〕

#### 歴史講座「大磯町助役日誌を読む—よみがえる 100 年前の大磯—」

期 日／令和 2 年 2 月 16 日（日）

場 所／郷土資料館 研修室

講 師／富田三紗子（当館学芸員）、古文書解説クラブ会員

参加人数／18 人

内 容／毎週金曜日の会で解説した、大正時代の大磯町助役の日誌の解説文の一部（大正 4 年 10 月から大正 5 年 12 月分）を資料館資料 18 として刊行し、その内容を報告するために、歴史講座を開催した。初めに、担当学芸員から日誌の概要と解説クラブの活動内容を説明し、解説クラブの会員から、ブリ漁、郡役所移転問題、衛生事務、戸籍など、日誌の内容を報告した。

（担 当）富田・伊藤



#### <写真整理クラブ>

期 日／平成 31 年 4 月 14 日（日）、4 月 28 日（日）、令和元年 5 月 12 日（日）、5 月 26 日（日）、6 月 16 日（日）、6 月 30 日（日）、7 月 14 日（日）、7 月 28 日（日）、8 月 11 日（日）、8 月 25 日（日）、9 月 15 日（日）、9 月 29 日（日）、10 月 27 日（日）、11 月 10 日（日）、12 月 15 日（日）、令和 2 年 1 月 12 日（日）、1 月 26 日（日）、2 月 2 日（日）、2 月 16 日（日）

場 所／郷土資料館 研修室

参加人数／延 84 人

内 容／郷土資料館が所蔵する写真を会員と共に整理し、資料の活用を図ることを目的として、平成 28 年度から毎月第二、第四日曜日を原則として活動を始めた。活動内容としては、『広報おいそ』担当者が撮影した写真のフィルムをスキャンし、デジタル化した。また、必要に応じてフィルムの清掃を行った。今年度は、ネガフィルム全 27 冊の内、6 冊目（資料番号 N6）までのフィルムをデジタル化した。

（担 当）富田・伊藤

#### <海の教室>

#### 楽しい海藻おしばづくり

期 日／令和元年 10 月 26 日（土）

場 所／郷土資料館 研修室

講 師／高山優美（当館臨時職員）、長島美保（海の森クラブ会員）

参加人数／9 人

内 容／特定の学問分野にかかわらず「海」をテーマに様々なことを体験し、楽しみながら海岸環境や海産生物についての知識を深めることを目的に平成 12 年度から実施している。令和元年度は海藻おしばづくりの講座を実施した。

（担 当）高山

#### ■ 博物館実習

令和元年度は 3 大学より 3 名の学生を受け入れた。実習期間は 9 月 3 日から 9 月 14 日の間（9 月 8 日・9 日を除く）及び 7 月 26 日（事前ガイダンス）、9 月 27 日（課題等提出）の計 12 日間とした。

実習課程は、例年のとおり、1 週目に資料整理などの実務的な作業、2 週目に企画から列品までを行う展示作業とした。展示作業では、郷土資料館の廻廊に掲示する展示ポスターを作成した。実習生自らが決めた「大磯の伝導者たち」をテーマとして、9 月 28 日から 12 月 8 日まで掲示した。

#### <実習生>

加藤沙耶果（日本大学）、笹本尚之（東京農業大学）、菊地康之（鶴見大学）

<課程>

月日	曜日	午前	午後
7月26日	金		ガイダンス／館内見学
9月3日	火	講義（博物館活動の概要）	町内施設・史蹟等見学
9月4日	水	旧吉田茂邸受付業務	吉田茂関係資料整理
9月5日	木	常設展示室展示替え（歴史資料の展示）	
9月6日	金	資料梱包	資料梱包／特殊資料の取り扱い
9月7日	土	講義（教育普及活動の概要）	古文書解読クラブに参加／ポスター展示の作業
9月10日	火	展示替実習（ポスター展示作成）	
9月11日	水	展示替実習（ポスター展示作成）	
9月12日	木	展示替実習（ポスター展示作成）	
9月13日	金	展示替実習（ポスター展示作成）	
9月14日	土	展示替実習（ポスター展示作成）	
9月27日	金		展示替実習（ポスター展示掲示）

（担 当） 富田・久保庭・國見

■ 研究活動

戦時中の大磯に関する調査

期 日／平成31年4月11日（木）、令和元年5月14日（火）、6月18日（火）、11月13日（水）、12月20日（金）、令和2年1月16日（木）・22日（水）、3月19日（木）・31日（金）

内 容／平成27年に終戦70年を迎え、戦争の記録が失われつつある中、大磯の戦時中の状況を把握することを目的として、平成28年度から調査を始めた。調査内容は、町内で空襲などの戦争を体験された方に対する聞き取り調査及び町内に築かれた防空壕などの実測調査、その他必要な調査である。本年度は、空襲などの体験に関する聞き取り調査において、2人の方にご協力いただいた。また、大磯駅裏や西小磯に所在する防空壕・陣地壕の実測調査を行った。調査にあたっては当館職員その他、市民協力者として、市原誠氏、藤田尚志氏にご協力いただいた。

（担 当） 富田・久保庭

■ 博物館資料の整備

<資料整備委託>

木造神像保存処理委託

業務内容／町指定有形文化財木造神像11軀のうち、1軀について保存処理を行う。

契約期間／平成30年5月8日～令和2年1月31日

請負者／光圓美術研究所

<歴史資料の整理>

歴史資料については、開館以来、長期にわたって専門の担当者が不在であったこともあり、未整理資料が膨大に収蔵されている現状にある。平成30年度から、これらの資料を総括し、段階的に整理することとした。本年度は、次のとおり整理を進めた。

## 文献資料（古文書等）

・大磯町史編纂時の整理済資料も含め、再調査及び整備を行った。受入番号 2004-1107 まで完了。

受入番号	資料群名	点数	受入番号	資料群名	点数
0000-0002	三家混合資料	376	1988-1208	鈴木昇家旧蔵資料	1
0000-0003	高麗資料	53	1989-0107 他	大内満家旧蔵資料	33
0000-0004	中川良知家旧蔵資料	113	1989-0407	加藤春雄家旧蔵資料	4
0000-0005	熊沢紋一郎家旧蔵資料	147	1989-0509	鈴木博家旧蔵資料	26
0000-0006	出口藤江家旧蔵資料	260	1989-1201	今村清家旧蔵資料	1
0000-0007	石井文蔵家旧蔵資料	156	1989-1206 他	細井豊家旧蔵資料	258
0000-0010	脇正男家旧蔵資料	50	1990-0203	鈴木春香家旧蔵資料	141
0000-0012	中郡水産会資料	82	1990-1002	後藤雅夫家旧蔵資料	4
0000-0013	飯田光明家旧蔵資料	41	1991-0705	渡辺広平家旧蔵資料	16
0000-0014	望月平兵衛家旧蔵資料	27	1991-0707	橘継夫家旧蔵資料	371
0000-0015	植田謙吉家旧蔵資料	6	1991-0801	小田島藤雄家旧蔵資料	71
0000-0017	豊田由登家旧蔵資料	403	1991-0902	加藤和夫家旧蔵資料	55
0000-0025	渡辺定雄家旧蔵資料	14	1992-0427	加藤文八家旧蔵資料	3
0000-0027	飯田政尚家旧蔵資料	1	1992-0502	香川武彦家旧蔵資料	15
0000-0028	中里てふ家旧蔵資料	1	1993-0401	木村純子家旧蔵資料	2
0000-0031	岩田一彦家旧蔵資料	4	1994-0202	飯田福信家旧蔵資料	1
0000-0033	船橋ユキ家旧蔵資料	300	1994-0301	木村純子家旧蔵資料	3
0000-0034	井上家旧蔵資料	45	1994-0418	庄野悦子家旧蔵資料	23
0000-0035	今村家旧蔵資料	24	1994-0501	国府本郷地域資料	157
0000-0036	安井小弥太家旧蔵資料	7	1994-0903 他	原恒之家旧蔵資料	190
0000-0053	加藤文子家旧蔵資料	643	1994-1004	加藤英雄家旧蔵資料	1
0000-0055	不明家 I 資料	40	1995-0204	効能書『官許 通閑散』	1
0000-0069 他	曾根田重和家旧蔵資料	784	1995-1003 他	西海誠家旧蔵資料	83
1965-0101	小島本陣資料	946	1996-0502	茶寮あら井跡資料	46
1983-1002 他	安部川征彦家旧蔵資料	110	1996-0604	山口進家旧蔵資料	1
1985-0203	平林俊吾家旧蔵資料	59	1996-1208	大日本温泉一覧	1
1985-0401 他	渡辺美代家旧蔵資料	13	1997-0206	木村純子家旧蔵資料	2
1985-0801 他	竹内正雄家旧蔵資料	3	1998-0905	西山敏夫家旧蔵資料	58
1985-1101	渡辺光彦家旧蔵資料	13	1999-1002	伊東宗兵衛家文書	368
1986-0902	高橋誠一郎家旧蔵資料	64	2000-0308 他	加藤登思枝家旧蔵資料	49
1986-1002	渡辺美代家旧蔵資料	1	2000-0425	松下敏明家旧蔵資料	20
1986-1202	峯尾倫子家旧蔵資料	9	2001-0506	二宮松汀関係資料	44
1987-0301	土屋隆夫家旧蔵資料	100	2001-0705	鈴木喜八郎家旧蔵資料	127
1987-0303	白根光男家旧蔵資料	1	2002-0501	杉谷一子家旧蔵資料	1
1987-0404	亀高信夫家旧蔵資料	117	2002-1206	木村純子家旧蔵資料	1
1987-0603 他	関野好一家旧蔵資料	28	2003-0301	中村千代家旧蔵資料	83
1987-1005	吉川忠男家旧蔵資料	1	2003-0403	千野英子家旧蔵資料	29
1988-0801	五島八左衛門家旧蔵資料	10	2003-0603	椎野スエ家旧蔵資料	3
1988-0806 他	吉田茂治家旧蔵資料	5	2004-1101	加藤廣美家旧蔵資料	79
1988-1001	環境清掃課採集資料	28	2004-1107	鈴木昇家旧蔵資料	3

## コレクション資料

・吉田茂関係資料を新たに 168 点購入及び受け入れ、所蔵点数が 3,340 点になった。

・吉田茂関係資料の内、吉田家旧蔵資料（受入番号 2017-0309）の書簡の管理用の目録を作成した。

総点数 523 点。

・別荘関係資料を新たに 1 点受け入れ、所蔵点数が 254 点になった。

・城山荘関係資料を新たに 1 点受け入れ、所蔵点数が 168 点になった。

・島崎藤村関係資料を新たに 1 点受け入れ、所蔵点数が 131 点になった。

## 美術品

・銃砲刀剣類を新たに 11 点受け入れ、所蔵点数が 51 点になった。

・ホームページの収蔵資料データベースにて、所蔵する浮世絵の内 14 点の画像を公開した。

## 寄託資料

・次の資料を整理し、管理用の目録を作成した。

番号	資料群名	点数
17	菊池重三郎関係資料	1,510
30	西小磯東西部落資料	61

## 絵葉書

- ・新たに 15 点購入し、所蔵点数が 915 点になった。
  - ・大磯に関するもののみ、ホームページの収蔵資料データベースにて画像を公開した。公開した画像の件数は、27 シリーズ。
- (担 当) 富田・久保庭・飯野・鈴木(千)・中原・温水・伊藤

## ■ 刊行物

### <図録・冊子>

- ・『年報—平成 30 年度—』 A 4 判 40 頁 400 部 (令和元年 8 月刊)
- ・企画展図録『鳴立庵』 A 4 判 40 頁 800 部 (令和元年 10 月刊)
- ・資料館資料 18『大磯町助役日誌』 A 4 判 108 頁 500 部 (令和 2 年 1 月刊)
- ・企画展図録『大磯別邸城山荘』(2 刷) A 4 判 48 頁 500 部 (令和 2 年 2 月刊)
- ・『Report—大磯町郷土資料館だより』 40 A 4 判 8 頁 800 部 (令和 2 年 3 月刊)

### <チラシ・パンフレット>

- ・企画展『吉田茂新収蔵資料展』 チラシ A 4 判両面 10,000 部 (平成 31 年 4 月刊)
- ・秋季企画展『鳴立庵』 チラシ A 4 判両面 10,000 部 (令和元年 9 月刊)
- ・歴史講座『大磯町助役日誌を読む』 チラシ A 4 判片面 700 部 (令和 2 年 1 月刊)

## ■ 視察・見学対応

### <視察・見学の月別件数>

単位：団体

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
視察	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
見学	1	1	1	1	0	0	2	0	0	0	2	0	8

※令和 2 年 3 月 7 日から新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館

### <視察対応> 館職員が対応した団体のみ記載

- ・茅ヶ崎市文化資料館／7 月 24 日／2 人 (久保庭)

### <見学対応> 館職員が対応した団体のみ記載

- ・二宮町図書館／6 月 4 日／8 人 (久保庭)
- ・ダイヤ小田急線友会／7 月 9 日／30 人 (久保庭)
- ・鎌倉淡青会／10 月 24 日／30 人 (富田)

## ■ 取材対応

### <刊行物>

- ・タウンニュース 令和元年 5 月 17 日掲載「大磯町郷土資料館 初公開の品も多数 吉田茂ゆかりの新資料展」(久保庭)
- ・神奈川新聞 令和元年 5 月 24 日掲載「企画展「吉田茂新収蔵資料展」について」(久保庭)
- ・読売新聞 令和元年 6 月 18 日掲載「陸奥宗光邸について」(久保庭)
- ・埼玉新聞 令和元年 8 月 (掲載日未詳)「鈴木久五郎について」(富田)
- ・河出書房新社 令和元年 8 月 (刊行日未詳)「戦時中の大磯について」(富田)
- ・神奈川新聞 令和元年 10 月 18 日「秋季企画展「鳴立庵」について」(久保庭・富田)
- ・タウンニュース 令和 2 年 1 月 24 日掲載「100 年前の大磯鮮明に」(富田)
- ・タウンニュース 令和 2 年 1 月 31 日掲載「大正の大磯を知る」(富田)

### <テレビ>

- ・NHK『歴史秘話ヒストリア (令和元年 6 月 26 日放送)』「陸奥宗光」(久保庭)
- ・毎日放送『ちんぷいぷい (令和元年 7 月 18 日放送)』「昔の人は偉かった」(富田)
- ・NHK『美の壺 (令和元年 7 月 19 日放送)』「日本の避暑地スペシャル」(久保庭)
- ・湘南ケーブルネットワーク (令和元年 10 月 10 日対応/放送日未詳)「スタンプラリー「おおいそめぐり」の紹介」(富田)

## ■ ホームページを活用した情報発信

### <ホームページの更新> 休館情報などは除く

- 平成 31 年 4 月 24 日 「旧吉田茂邸×産業能率大学プロジェクト」のページを公開
- 令和元年 7 月 19 日 収蔵資料データベースのページを公開
- 令和元年 10 月 14 日 旧吉田茂邸紹介動画公開

## &lt;ブログの更新&gt;

・年間を通して、郷土資料館は16回、旧吉田茂邸は10回更新した。

## &lt;SNSの利用&gt;

・twitterは、年間を通して72回投稿し、869件の反応があった。フォロワー数は1,085件。

・facebookは、年間を通して74回投稿し、363件の反応があった。フォロワー数は84件。

・インスタグラムは、年間を通して31回投稿し、367件の反応があった。フォロワー数は50件。

※フォロワー数は、令和2年4月18日確認。

## ■ 博物館資料の収集、整備、利用

## &lt;寄贈資料&gt;

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
2019-0401	H31.4.16	鉛筆画 吉田茂邸外観、吉田茂写真	2	山口一正
2019-0402	H31.4.16	高田保『河童ひょうたん』他	2	飯島孝志郎
2019-0504	R1.5.16	井上寿一『吉田茂と昭和史』他	4	曾田成則
2019-0507	R1.5.27	図書(吉田茂関係)	38	和田幸子
2019-0601	R1.6.11	雑誌(吉田茂関係)	3	柴田紳一
2019-0602	R1.6.20	図書『伝馬関係書類』其の一～六	6	加藤哲史
2019-0603	R1.6.20	雑誌『中央公論』2011年11月号 他	6	曾田成則
2019-0702	R1.7.12	田中耕太郎宛吉田茂書簡(軸装)	1	森弘考
2019-0703	R1.7.27	カセットテープ「大磯八景音頭 他」	1	柏木文子
2019-0802	R1.8.28	マッチ箱(城山荘関係)	1	小川芳明
2019-0803	R1.8.28	ライター(島崎藤村愛用品)	1	森岡葉子
2019-0804	R1.8.29	刀剣	2	野地昭史
2019-0805	R1.8.29	大磯海水浴場開設100周年記念入場券 他	3	幸野栄子
2019-0902	R1.9.20	吉田茂『日本を決した百年』(中公文庫) 他	6	曾田成則
2019-0903	R1.9.28	古文書(大磯宿関係)	一括	小林良子
2019-1001	R1.10.18	高麗権現由来記 他	2	平田芳晴
2009-1003	R1.10.31	御船祭の写真 他	一括	安永一夫
2019-1201	R1.12.6	吉田茂色紙	1	横地順子
2019-1202	R1.12.10	吉田茂銅像写真	1	中山寛
2020-0101	R2.1.5	新聞記事(吉田茂国葬関連)	5	浅野薫
2020-0103	R2.1.10	安田鞞彦関連図書	17	安田由紀夫
2020-0105	R2.1.23	西園寺公望隣荘板額	1	池田正雄
2020-0210	R2.2.27	『父 吉田茂』、新聞切り抜き 他	5	曾田成則
2020-0301	R2.3.10	谷口直枝子宛吉田茂書簡	89	谷口章子
2020-0302	R2.3.24	民具 他	一括	二宮貞道

## &lt;採集資料&gt;

No.	受入年月日	資料名	数量
2019-0503	R1.5.15	磁器片	2

## &lt;移管資料&gt;

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
2019-0806	R1.8.29	戸上寛子氏 吉田茂詩・ 詩額寄贈企画書他	一式	大磯町長

<購入資料>

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
2019-0701	R1.7.2	絵本曾我物語	1	福地書店
2019-0801	R1.8.6	絵葉書	8	鶴庵 高橋正幸
2019-0901	R1.9.19	絵葉書	6	鶴庵 高橋正幸
2020-0102	R2.1.9	絵葉書	1	鶴庵 高橋正幸
2020-0209	R2.2.20	吉田茂関連図書	一括	文生書院

<寄託資料>

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
2	S63.6.1	山高帽 他	一括	西小磯東区長
5	S63.9.2	四季耕作図 他	11	個人
16	H1.12.9	子ども会旗・七夕資料	一括	西小磯西子ども会
17	H1.8.8	菊池重三郎関係資料	一括	個人
22	H4.4.1	稲荷講資料	一括	個人
23	H4.4.1	雛人形	一括	個人
28	H5.7.22	吉田茂杯 他	5	大磯中学校
30	H6.4.12	掛軸 他	一括	西小磯東区長・西小磯西区長
32	H7.9.12	獅子頭	2(1 対)	裡道区長
35	H13.7.17	屏風 他	一括	南本町区長
37	H15.4.1	木造神像群	12	高来神社
39	H21.4.17	扁額 他	1	国府中学校
40	H21.12.24	伊藤博文書幅	1	個人
41	H22.2.1	大久保家資料	一括	個人
43	H23.6.29	掛軸	1	個人
44	H26.8.12	脇差	1	個人
45	H27.3.6	鈴木芳如関係資料	10	個人
46	H27.4.16	画幅「七福神」 他	2	個人
48	H27.8.4	わきざし 他	8	個人
49	H27.8.4	わきざし	1	個人
50	H28.6.29	袖がらみ 他	2	個人
51	H28.4.5	杉戸絵 他	10	(株) 溪泉
52	H28.10.13	国府祭 鷺舞資料	一式	六所神社
53	H29.7.13	城山荘関係資料	57	個人
54	H29.10.26	招仙閣関係資料	26	東光院
55	H29.1.5	日本国憲法草案	2	個人
56	H30.9.9	生沢二宮家資料	一括	個人
57	R2.1.7	安田鞞彦宛吉田茂書簡、 安田善次郎邸観音堂関 連資料	一式	個人

※寄託期間は最長 2 年とし、2 年以降は更新を行う。現在の寄託期間は、令和 2 年 3 月 31 日まで。

<資料の館外貸出>

資料名	点数	利用目的	年月日	申請者
馬場台遺跡第 63 地点試 掘調査資料	一括	発掘調査報 告書作成	H31.4.1 ～ R2.3.31	(株) アーク・フィール ドワークシステム
吉田茂写真プリント	13	吉田茂写真 集印刷製本 業務	H31.4.19 ～ R1.5.23	神奈川印刷 (株)
加藤文子家旧蔵資料	108	企画展展示	R1.6.18 ～ R1.9.13	春日部市郷土資料館

資料名	点数	利用目的	年月日	申請者
アオバトの卵	1	特別展展示	R1.7.1 ～R1.11.29	県立生命の星・地球博物館
刀剣「兼定」	1	刀剣研磨作業	R1.7.10 ～R2.2.28	小野敬博
屏風 他	一式	祭事	R1.7.11 ～R1.7.17	個人
獅子頭	2	祭事	R1.7.13 ～R1.7.14	個人
平成24年度企画展「東海道大磯宿」使用パネル	一括	展示	R1.8.22 ～R1.10.27	(公社)大磯町観光協会
東京オリンピック聖火リレー写真	一式	パネル展示	R1.9.10 ～R1.10.29	スポーツ健康課
堂後下横穴墓群1号墓大刀片 他	4	資料保存処理委託	R1.9.24 ～R2.3.13	(株)東都文化財保存研究所
吉田茂DVD「大磯を愛した宰相」	2	会議	R1.10.10 ～R1.11.22	神奈川県
大磯の災害パネル	10	展示	R1.10.24 ～R1.10.27	個人
掛軸 他	一式	祭事	R2.3.7 ～R2.3.8	個人

#### <資料の特別利用>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
研究・学術	0	2	14	0	1	0	
刊行物掲載	6	4	8	2	1	1	
放映・動画配信	0	2	0	3	0	0	
ウェブ掲載	0	1	0	2	1	0	
展示	0	1	1	0	3	1	
展示資料の撮影	6	8	5	6	6	4	
その他	1	0	0	0	1	1	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
研究・学術	3	1	1	1	2	0	25
刊行物掲載	3	2	4	2	1	2	36
放映・動画配信	0	0	1	0	2	1	9
ウェブ掲載	0	1	0	1	0	0	6
展示	0	0	0	0	0	0	6
展示資料の撮影	4	2	3	1	2	0	47
その他	1	1	0	1	0	0	6

#### ■ 文献資料収集状況

##### <寄贈機関・関係団体リスト一覧>

《県内》

- [大磯町] エリザベス・サンダース・ホーム、大磯ガイド協会、大磯町政策課、大磯町教育委員会、大磯町教育委員会生涯学習課、大磯町青少年指導員連絡協議会、大磯町立図書館、大磯 馬場地区町内会、詩季の会
- [茅ヶ崎市] 茅ヶ崎市教育委員会、茅ヶ崎市文化資料館、四門、茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団
- [秦野市] 秦野市教育委員会、野生動物救護の会、夢工房
- [藤沢市] 江島神社社務所、湘南考古学同好会、(続)藤沢市史編さん委員会、日本大学生物資源科学部博物館、藤沢市教育委員会、藤沢市藤澤浮世絵館、藤沢市文書館
- [平塚市] 常民文化研究会、東海大学文明研究所、平岡学園平岡幼稚園、平塚市教育委員会、平塚市博物館、平塚人物史研究会、横浜詩人会議出版



- [伊勢原市] 公益財団法人雨岳文庫
- [寒川町] 寒川町教育委員会、寒川町史編集委員会、寒川文書館
- [小田原市] 小田原市教育委員会、小田原市郷土文化館、小田原市立図書館、小田原城天守閣、小田原邸園交流館清閑亭、神奈川県植物誌調査会、神奈川県立生命の星・地球博物館、報徳福運社
- [箱根町] 箱根町立郷土資料館
- [山北町] 山北町地方史研究会
- [横浜市] アーク・フィールドワークシステム、岩崎博物館、馬の博物館、かながわ考古学財団、神奈川県、神奈川県教育委員会、神奈川県博物館協会、神奈川県文化財課、神奈川県民俗芸能保存協会、神奈川県立公文書館、神奈川県立図書館、神奈川県立歴史博物館、神奈川県文学振興会、国際協力機構横浜国際センター海外移住資料館、玉川文化財研究所、日本郵船歴史博物館、馬事文化財団、はまぎん産業文化振興財団、浜銀総合研究所、横浜市教育委員会、横浜植物会、横浜都市発展記念館、横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター、横浜市歴史博物館、横浜みなと博物館、横浜ユーラシア文化館
- [川崎市] 川崎市教育委員会、川崎市市民ミュージアム、川崎市立日本民家園
- [鎌倉市] 鎌倉考古学研究所、鎌倉国宝館、鎌倉市教育委員会、鎌倉文化研究会、斉藤建設、鶴岡八幡宮社務所
- [横須賀市] 観音崎自然博物館、横須賀市教育委員会、横須賀市自然・人文博物館
- [葉山町] 葉山しおさい博物館
- [厚木市] あつぎ郷土博物館、厚木市教育委員会、睦合文化財株式会社
- [相模原市] イソビク、相模原市、相模原市教育委員会、相模原市立博物館、武相文化財研究所
- [海老名市] 海老名市教育委員会
- [大和市] 大和市教育委員会
- [座間市] 座間市教育委員会
- [清川村] 丹沢自然保護協会
- [真鶴町] 真鶴町立中川一政美術館
- [愛川町] 愛川町郷土資料館
- [南足柄市] 南足柄市文化会館

《県外》

- [茨城県] 稲敷市歴史民俗資料館、小美玉市教育委員会、かすみがうら市歴史博物館、上貝塚ふるさと歴史の広場、土浦市立博物館
- [栃木県] 宇都宮共和大学、小山市立博物館
- [埼玉県] 春日部市郷土資料館、国税庁税務大学校税務情報センター租税史料室、埼玉県立川の博物館、ふじみ野市教育委員会、富士見市立難波田城資料館、立正大学博物館
- [千葉県] 伊能忠敬記念館、国立歴史民俗博物館、市立市川考古博物館、市立市川歴史博物館、袖ヶ浦市郷土博物館、千葉市立加曾利貝塚博物館、千葉県博図公連携事業実行委員会、飛ノ台史跡公園博物館、野田市教育委員会・関宿を語る会、船橋市郷土資料館、松戸市立博物館、松戸市戸定歴史館
- [東京都] 板橋区教育委員会、板橋区立郷土資料館、ウェッジ、大田区教育委員会、大田区立郷土博物館、お札と切手の博物館、霞出版社、外務省外交史料館、学習院大学、清瀬市郷土博物館、駒澤大学禅文化歴史博物館、国際文化財、国立科学博物館、品川区立品川歴史館、四門、昭和館、新潮社、J I C A、すばる舎、石文社、大成エンジニアリング、多摩市文化振興財団パルテノン多摩、玉川大学、玉川大学教育博物館、調布市郷土博物館、東京家政学院生活文化博物館、東京家政大学博物館、東京都江戸東京博物館、豊島区立郷土資料館、豊島区立鈴木信太郎記念館、豊島区立雑司が谷旧宣教師館、日本女子大学、日本博物館協会、日本ファイリング株式会社、パスコ、B S 朝日、府中市郷土の森博物館、東日本旅客鉄道株式会社、文化庁、法政大学、町田市教育委員会、町田市立自由民権資料館、港区教育委員会、港区立港郷土資料館、明治大学、靖国神社社務所、雄山閣、立正大学ウズベキスタン学術交流プロジェクトニュースレター編集委員会、ワニブックス
- [静岡県] 伊豆の国市教育委員会、静岡県立美術館、沼津市歴史民俗資料館、三島市教育委員会、三島市郷土資料館、三島地域資料研究会

[愛知県]	安城市歴史博物館、一宮市尾西歴史民俗資料館、N T Tタウンページ株式会社中部営業本部、豊橋市二川宿本陣資料館、豊橋市美術博物館、豊橋市美術博物館友の会
[山梨県]	環境省自然環境局生物多様性センター、南アルプス市教育委員会
[群馬県]	渋川市教育委員会
[長野県]	茅野市教育委員会、茅野市神長官守矢史料館、茅野市美術館、茅野市文化財課文化財係、茅野市八ヶ岳総合博物館、茅野市八ヶ岳麓文芸館
[新潟県]	奥山荘郷土研究会、十日町市博物館
[岐阜県]	藤村記念館
[三重県]	亀山市歴史博物館、鈴鹿市考古博物館
[和歌山県]	和歌山県立自然博物館、和歌山県立博物館、和歌山県立文書館
[滋賀県]	草津宿街道交流館
[大阪府]	大阪市立自然史博物館、富田林市教育委員会、吹田市立博物館
[兵庫県]	人と防災未来センター
[岡山県]	岡山民俗学会
[山口県]	伊藤公資料館
[高知県]	高知県牧野記念財団
[岩手県]	奥州市牛の博物館
[青森県]	青森県立郷土館
[北海道]	帯広百年記念館、沙流川歴史館、美幌博物館

## 旧吉田茂邸（郷土資料館別館）学芸活動

### ■ ミニ企画展

#### ミニパネル展①「吉田茂写真展－当館所蔵未公開写真を中心として－」

期 間／平成 31 年 4 月 27 日（土）～令和元年 6 月 30 日（日）

開場日数／56 日間

会 場／旧吉田茂邸 展示・休憩室

観覧者数／12,693 人

趣 旨／旧吉田茂邸の公開をきっかけとして寄贈を受けた吉田茂に関する資料の内、未公開の写真資料を展示する。

内 容／吉田家寄贈写真を中心に、大磯の邸宅における吉田の暮らしぶりや、私人としての吉田の表情にせまる。

（担 当）久保庭

#### ミニパネル展②「鈴木貫太郎と吉田茂－終戦をみつめた二人の首相－」

期 間／令和元年 7 月 3 日（水）～10 月 31 日（木）

開場日数／99 日間

会 場／旧吉田茂邸 展示・休憩室

観覧者数／10,999 人

趣 旨／鈴木貫太郎は海軍軍人として海軍の要職を歴任し、終戦時の内閣総理大臣を務めた。吉田茂とは、鈴木が学習院軍事教練担当教師として赴任していた際に知り合い、以後戦後に至るまで交流が続いた。鈴木貫太郎は終戦時の首相として、吉田茂は戦後復興を担った首相として、共に日本が厳しい状態に置かれていた時代に、国政を担った。こうした鈴木と吉田の関係や、エピソードを取り上げる。

内 容／

(1) 鈴木貫太郎と吉田茂の出会い

吉田茂が学習院大学時代に軍事教練担当教師であった鈴木貫太郎と出会ったエピソードや、吉田の岳父・牧野伸顕と鈴木貫太郎との繋がりについて紹介した。

(2) 終戦と鈴木貫太郎

戦時中～終戦にかけて、吉田茂と鈴木貫太郎が戦争終結に向けて行った活動を概観した。

(3) 戦後の鈴木・吉田

吉田茂が外務大臣就任時に鈴木を訪問し「負けっぷりをよくしなければならぬ」と言われたエピソード

ドを紹介。また、鈴木は吉田に請われ、枢密院議長に就任し、日本国憲法の制定などにも携わった。

#### (4) 鈴木と吉田の交流

当館所蔵資料及び鈴木貫太郎記念館所蔵資料（複製）の中から、鈴木貫太郎及び吉田茂の書簡を展示した。

(担 当) 久保庭

### ミニパネル展③「吉田茂 暮らし展」

期 間／令和元年 11 月 2 日（土）～令和 2 年 3 月 31 日（火）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和 2 年 3 月 7 日から臨時休館

開場日数／99 日間

会 場／旧吉田茂邸 展示・休憩室

観覧者数／11,851 人

趣 旨／「白足袋宰相」「和製チャーチル」と言われた吉田茂の独特の暮らしぶりに焦点を当て、衣・食・住それぞれの視点から展示を行う。

内 容／

#### (1) 衣

吉田茂は「白足袋宰相」や「和製チャーチル」と呼ばれ、吉田独特の装いをしていた。公の場では洋装を着こなし、家では常に和服で暮らしていた。写真や関係者の証言などを参考にし、服のメーカーや素材、吉田が鼻用にしていた店の紹介をし、弦なし眼鏡やステッキ、帽子などにも言及した。

#### (2) 食

吉田茂は食にもこだわりがあった。吉田茂の普段の食生活や、吉田が鼻用にしていた料理人・店舗などを紹介した。

#### (3) 住

吉田茂が生きていた当時の邸宅内写真から、吉田が愛用していた家具・調度品を紹介した。

(担 当) 久保庭

## ■ 展示解説・講演会

### 展示解説

日 時／令和元年 9 月 7 日（土）・21 日（土）、10 月 12 日（土）・26 日（土）、11 月 9 日（土）・23 日（土）、12 月 7 日（土）・21 日（土）、令和 2 年 1 月 11 日（土）・25 日（土）、2 月 8 日（土）・22 日（土）

14 時～14 時 30 分頃

※10 月 12 日（土）は台風 19 号による臨時休館のため中止

場 所／旧吉田茂邸 研修室

参加人数／延 53 人

内 容／担当学芸員が邸内・ミニパネル展の内容を 30 分程度で解説した。

(担 当) 久保庭・飯野

### 国登録有形文化財登録記念七賢堂特別開扉講演会

「政界の奥座敷」大磯の別荘群からみた近代史—伊藤博文から吉田茂まで—

期 日／令和元年 9 月 23 日（月）

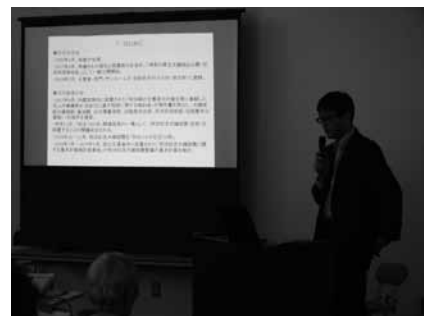
場 所／県立大磯城山公園 旧吉田茂邸地区 管理休憩棟

講 師／奈良岡聡智 氏（京都大学公共政策大学院教授）

参加人数／53 人

趣 旨／県立大磯城山公園内の兜門・七賢堂・サンルームが平成 31 年に国登録有形文化財（建造物）に登録されたことを記念し、県立大磯城山公園が主催する七賢堂特別開扉にあわせて、七賢堂に関する講演会を開催する。講演会を通じて、七賢堂に関係の深い人物への理解を深め、かつ吉田邸と七賢堂の関係についても広く知ってもらうための機会とする。

内 容／県立大磯城山公園旧吉田茂邸地区にある七賢堂は、もともと伊藤博文が大磯の邸宅「滄浪閣」に建立した建造物であり、のちに吉田茂が自邸に移築した。伊藤博文と吉田茂はいずれも大磯と関係の深い人物であり、講演では七賢堂を切り口として伊藤・吉田の二人を取り上げ、近代に別荘地として発展してきた大磯の特徴について理解を深めた。とりわけ、大磯が日本の保守政治の大きな流



れが俯瞰できる場所であり、七賢堂はその象徴的な存在であるということについて、お話しください。

(担 当) 久保庭

### 講演会「鈴木貫太郎と吉田茂—二人の交流と業績—」

期 日／令和元年10月6日(日)

場 所／旧吉田茂邸 研修室

講 師／笹川知樹氏(千葉県野田市鈴木貫太郎記念館学芸員)

参加人数／24人

内 容／鈴木貫太郎の生涯とその業績や鈴木と吉田との繋がりなどをお話しください。また、鈴木貫太郎記念館で所蔵している、鈴木貫太郎宛吉田茂書簡、鈴木貫太郎の回想を紹介したマッカーサーと吉田茂の往復書簡、鈴木貫太郎日記についてもお話しください。

(担 当) 久保庭



### ■ 決断に特化した旧吉田茂邸独自イベント

旧吉田茂邸は、博物館として様々な講座や研修などを行うための研修室が設けられ、平成29年4月の開館以来、吉田茂元首相や近代史などを学ぶための講座などを開催している。また、日本の戦後復興は東洋の奇跡と呼ばれ、吉田茂元首相は中心人物の一人であり、旧吉田茂邸においても戦後復興に向け様々な決断が行われた場所であることから、「決断の聖地」をキーワードにした就活支援やビジネスパーソン向け研修講座を開催している。吉田茂元首相を学びながら、「決断の聖地」をキーワードにした企業向け研修などへの取組を進め、施設利用の拡充を図る。

#### きわ びと 究め人講演会〔第2弾〕「星を究める」

期 日／令和元年6月16日(日)

場 所／旧吉田茂邸 研修室

講 師／鷹宏道氏(平塚市博物館前館長)

参加人数／21人

内 容／平塚市博物館の天文学担当の学芸員をされてきた鷹先生が天文に興味を持たれたきっかけや、調査・研究活動の業績について、身近な星、月や太陽についてお話しください、最新天文学の成果を盛り込んだ迫力ある宇宙の映像を見せてください。

(担 当) 北水・齋藤

#### きわ びと 究め人講演会〔第3弾〕「ウミガメを究める」

期 日／令和元年7月28日(日)

場 所／旧吉田茂邸 研修室

講 師／菅沼弘行氏(認定NPO法人エバーラスティング・ネイチャー常任理事・保全戦略グループ長)

参加人数／21人

内 容／ウミガメの不思議な生態についてのお話ののち、国内外でのウミガメ減少状況の調査結果をもとに、絶滅させないために人間はどんなことをすればよいのか、またはしてはいけないのかなど、保護活動についてお話しください。

(担 当) 北水・齋藤

### 産業能率大学との連携事業「旧吉田茂邸写生会と絵画コンテスト」

「大磯町と産業能率大学の包括的な提携事業に関する協定」に基づく事業として実施した。

小中学生を対象とした旧吉田茂邸写生会と絵画コンテストを通して、小中学生が吉田茂や近現代史に関心をもってもらう機会を創出し、実施にあたっては参加する小中学生を、大学生がサポートすることで好奇心を刺激し、より楽しく学ぶことができるように仕向けた。また、写生会の参加者は、絵画コンテストに応募することを可能とし、創作意欲が高まることを期待した。

#### 〔旧吉田茂邸 写生会〕

期 日／令和元年8月9日(金)

場 所／旧吉田茂邸 研修室

対 象／小学 4 年生～中学 3 年生

参 加 費／無料

参加人数／12 人（中学生 1 人、小学生 11 人）

共 催／産業能率大学

協 力／三浦研究室（産業能率大学情報マネジメント学部）

内 容／大学生 10 名によるオリエンテーション（吉田茂の解説、邸内の案内）ののち、場所決め、テーマ、描き方、健康管理のサポートをしていただき、制作を開始した。当日の制作は下書きのみとし、色付け（水彩、色鉛筆など）は自宅での宿題とした。

#### 〔絵画コンテスト〕

期 日／審査：令和元年 10 月 18 日（金） 表彰：令和元年 11 月 23 日（土）

対 象／写生会参加者

審 査 員／産業能率大学：教員 2 名、大磯町：町長、副町長、教育長、教育委員 1 名、町立学校長 1 名

内 容／小学生及び中学生から 1 作品ずつ優秀賞を選び、優秀賞を受賞した作品を、旧吉田茂邸で配布するクリアファイルの図柄として採用した。また、おおいそ文化祭のオープニングイベントとして実施した表彰式において、優秀賞受賞者へ賞状を授与した。応募者全員に対して、本人の作品を印刷したトートバッグを贈呈し、作品を令和元年 11 月 29 日（金）～12 月 1 日（日）に実施したおおいそ美術展において展示した。

※令和元年 10 月 12 日（土）に絵画コンテスト応募者を対象として、写生会で描いた絵をデジタル画像にして動作させるプログラミング体験のワークショップを実施する予定であったが、台風 19 号による臨時休館のため中止した。

（担 当）佐川・齋藤

## ■ 博物館資料の整備

### < 収蔵資料整備 >

#### 映像フィルムデジタル化委託

業務内容／財団法人吉田茂国際基金から寄贈された音声 6mm オープンリール 9 点及びカセットテープ 10 点の保存処理及びデジタルデータ化を行った。

契約期間／令和元年 9 月 18 日～12 月 20 日

請 負 者／（株）東京光音

#### 刀剣研磨処理委託

業務内容／旧吉田家旧蔵資料のうち、刀剣「兼定」について研磨処理を行った。

契約期間／令和元年 6 月 14 日～令和 2 年 2 月 28 日

請 負 者／小野敬博

## ■ 調度品等の整備

### < 調度品製作委託 >

#### 旧吉田茂邸調度品製作委託

業務内容／焼失前の旧吉田茂邸に設置されていた調度品のうち銀の間執務机及び椅子の製作を行った。

契約期間／令和元年 8 月 2 日～令和 2 年 3 月 13 日

請 負 者／（有）東京インテリアクラフト

## ■ 刊行物

### < 図録・冊子 >

・『吉田茂 写真集—大磯で暮らした日々—』 A 4 判 20 頁 1,000 部（令和元年 5 月刊）

### < チラシ・パンフレット >

・講演会『「政界の奥座敷」大磯の別荘群からみた近代史』 チラシ

A 4 判両面 2,000 部（令和元年 8 月刊）

・展示解説シート『大磯と吉田茂』

A 4 判両面 10,000 部（令和 2 年 1 月刊）

・展示解説シート『政治家としての吉田茂』

A 4 判両面 10,000 部（令和 2 年 1 月刊）

・展示解説シート『旧吉田茂邸再建事業』

A 4 判両面 10,000 部（令和 2 年 1 月刊）

・旧吉田茂邸案内チラシ印刷

A 4 判片面 10,000 部（令和 2 年 1 月刊）

・旧吉田茂邸パンフレット（英語版）

A 4 判両面 2,000 部（令和 2 年 2 月刊）

## ■ 視察・見学対応

### <視察・見学の月別件数>

単位：団体

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
視察	4	5	2	3	0	1	2	3	3	2	1	0	26
見学	1	1	2	1	1	0	0	0	0	0	1	0	7

※令和2年3月7日から新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館

#### <視察対応> 館職員が対応した団体のみ記載

- ・国土交通省公園緑地・景観課及び神奈川県都市整備課／5月14日／4人（國見）
- ・国土交通省及び北九州市／10月23日／6人（富田）
- ・神奈川県議会経済・産業振興特別委員会／10月30日／9人（國見）

#### <見学対応> 館職員が対応した団体のみ記載

- ・大磯町体育協会／6月8日／30人（富田）
- ・平塚市立崇善公民館／6月21日／20人（久保庭）
- ・小出地区と小和田逐のまちぢから協議会／7月5日／10人（飯野）
- ・NHK文化センター光が丘教室／8月9日／25人（久保庭）
- ・HaNaNiOi 移住体験日帰りバスツアー／2月16日／38人（久保庭）

## ■ 取材対応

### <テレビ>

- ・NHK『NHKスペシャル（令和元年8月17日放送）』「昭和天皇は何を語ったのか」（久保庭）
- ・テレビ東京『池上彰の歴代総理からわかるオモシロ昭和史（令和2年2月23日放送）』（久保庭）

### <ウェブサイト>

- ・神奈川県運営サイト『マクガル・ドット・ネット』「著名人が愛した神奈川」令和元年12月14日対応（久保庭）

## 学芸員の調査、研究、普及活動

### <通年の活動>

- ・博物館資料調査／年間／大磯町内外（学芸員全員）
- ・駒澤大学博物館学講座講義／年間／駒澤大学（國見）
- ・神奈川県博物館協会理事／年間（國見）
- ・第68回全国博物館大会実行委員会委員／令和2年1月4日～（國見）
- ・アジア太平洋戦争期の相武地域史研究会／年間／東海大学（富田・久保庭）
- ・全国歴史資料保存利用機関連絡協議会会長事務局事務局員／年間（久保庭）

### <庁内事業への協力>

- ・新採用職員研修会講義／4月12日／大磯町保健センター（國見）

### <学校教育との連携>

#### 郷土資料館の見学・学習指導

講義名	月日	場所	担当
国府中学校1年生校外活動	4月18日	郷土資料館・旧吉田茂邸	—
国府中学校生沢分校	4月19日	郷土資料館	久保庭
大磯小学校3年生総合的な学習 「いっぱい知りたい大磯町」	5月31日	郷土資料館・旧吉田茂邸	富田・久保庭
国府小学校生沢分校6年生	10月4日	郷土資料館	—
梅の木幼稚園（二宮町）	10月24日	郷土資料館	—
国府中学校1年生総合的な学習「大磯調べ」	10月24日	郷土資料館	富田・久保庭・高山
国府小学校4年生社会科 「昔から今へと続くまちづくり」	10月31日	郷土資料館	富田・今井

講義名	月日	場所	担当
茅ヶ崎市立小出小学校	11月21日	郷土資料館	—
県立平塚養護学校	12月3日	郷土資料館	—
こいそ幼稚園	1月14日・21日	郷土資料館	—
星槎国際高校湘南	2月19日	郷土資料館	—
大磯中学校	2月20日	郷土資料館・旧吉田茂邸	—
たかとり幼稚園	3月3日	郷土資料館	—

### 学校等への講師派遣

講義名	月日	場所	担当
日本女子大学4年生「博物館実習」	5月9日	日本女子大学目白キャンパス	國見
大磯幼稚園「磯あそび」	6月18日	照ヶ崎海岸	村田

### 教員を対象とした講義

講義名	月日	場所	担当
大磯中学校教職員社会体験研修	8月6日・8日・9日	郷土資料館	富田・久保庭
令和元年度大磯町教育研究所主催「総合学習に生かせる大磯の自然散策」	8月20日	郷土資料館・町内	高山・村田

### <各種団体との連携>

#### 各種団体への講師派遣

講義名	月日	場所	担当
大磯町災害救援ボランティアの会講演会「関東大震災と大磯」	4月17日	町立福祉センター・さざれ石	富田
「地域の歴史を掘り起こす」講演会「別荘地としての大磯」	6月1日	東海大学湘南校舎	富田
全史料協関東部会第301回定例研究会「全史料協関東部会のこれまでとこれから」	8月8日	渋沢史料館	富田
NPO 法人大磯ガイド協会歴史教育研修会「大磯町の横穴墓群—その構造と副葬品—」	10月30日	郷土資料館	鈴木（一）
専修大学人文科学研究所・共同研究「鉄道文化資源の保存と継承」研究会「鉄道が遺した器～汽車土瓶の発生と展開～」	1月11日	専修大学サテライトキャンパス	國見
「玉縄歴史の会」公開講座「高麗寺と高麗寺村の歴史」	3月1日	玉縄学習センター分室	富田

### <学会・研究会との連携>

#### 研修会・会議出席等

名称	月日	場所	担当
令和元年度神奈川県博物館協会第1回役員会・総会・第1回研修会	5月10日	県立歴史博物館	國見
日本考古学協会第85回（2019年度）総会	5月18日	駒澤大学駒沢キャンパス	國見
令和元年度全史料協総会及び記念講演会	6月5日	学習院大学	久保庭
第26回全国博物館館長会議	7月3日	文部科学省	國見
第1回アジア太平洋戦争期の相武地域史研究会	6月20日	横浜開港資料館	久保庭
第2回アジア太平洋戦争期の相武地域史研究会	8月29日	横浜開港資料館	久保庭
全国歴史資料保存利用機関連絡協議会全国大会	11月13日～15日	安曇野市豊科公民館	久保庭
第3回アジア太平洋戦争期の相武地域史研究会	11月28日	横浜開港資料館	久保庭
相武地域史研究会資料調査	12月11日	伊勢原市役所	久保庭

名称	月日	場所	担当
神奈川県博物館協会による川崎市市民ミュージアム博物館資料レスキュー活動	12月12・19日、1月30日、2月13・27日	川崎市市民ミュージアム	富田・久保庭
全史料協保有文書調査	1月28日	高崎倉庫株式会社	久保庭

### <執筆>

富田 三紗子

- 2019. 10. 『鳴立庵』大磯町郷土資料館
- 2020. 1. 資料館資料 18 『大磯町助役日誌 大正四年一〇月～大正五年一二月』大磯町郷土資料館
- 2020. 3. 『『収蔵資料データベース』について』『Report ー大磯町郷土資料館だより』40 大磯町郷土資料館
- 2020. 3. 「清水善仁報告『全史料協関東部会定例研究会 300 回のあゆみ』に対するコメント」『アーキビスト 全史料協関東部会会報』93 全史料協関東部会

久保庭 萌

- 2019. 5. 『吉田茂 写真集ー大磯で暮らした日々ー』大磯町郷土資料館
- 2019. 9. 「全史料協沖繩大会参加報告記」『アーキビスト 全史料協関東部会会報』92 全史料協関東部会
- 2020. 3. 「国登録有形文化財登録記念七賢堂特別開扉講演会講演抄録」『Report ー大磯町郷土資料館だより』40 大磯町郷土資料館

飯野 友紀

- 2020. 3. 「国登録有形文化財登録記念七賢堂特別開扉講演会講演抄録」『Report ー大磯町郷土資料館だより』40 大磯町郷土資料館

中原 園子

- 2020. 3. 「国登録有形文化財登録記念七賢堂特別開扉講演会講演抄録」『Report ー大磯町郷土資料館だより』40 大磯町郷土資料館

温水 基輝

- 2020. 3. 「国登録有形文化財登録記念七賢堂特別開扉講演会講演抄録」『Report ー大磯町郷土資料館だより』40 大磯町郷土資料館